

# WHAT'S NEW

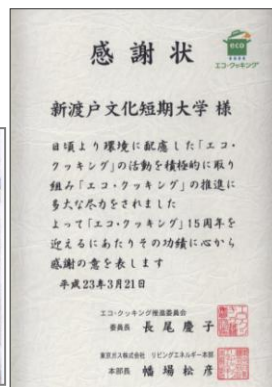
発行 新渡戸文化学園  
新渡戸文化短期大学

※ホームページに掲載しています。

## 食品学研究室の卒研ゼミ生がエコ・クッキング活動で貢献

生活学科食品学研究室の荒木葉子先生指導のもと、卒研ゼミ生は2009年度より毎年エコ・クッキングに取り組んでいます。環境を考慮して「買い物」「料理」「片づけ」を行うエコ・クッキングの取り組みは、新宿御苑内レストランでのエコ・クッキングメニューの提供を始め、学園祭や公開授業などでもエコ・クッキングの効果測定の実験成果を発表してきました。

そしてこの度、15周年を迎える東京ガス主催、エコ・クッキング推進委員会より、これらの取り組みに対して感謝状が授与されました。



## 生活学科の尾崎博美先生が東北大学大学院にて博士の学位を取得

生活学科教育原理研究室の尾崎博美先生が2011年3月、東北大学大学院教育学研究科(総合教育科学専攻)にて博士(教育学)の学位を取得されました。博士論文では「教育目的」をテーマとし、教育を通して目指されてきたところの理想の人間像について、その問題点と可能性について論じられました。特に、教育者-被教育者間の「関係性」に焦点を当てたものです。

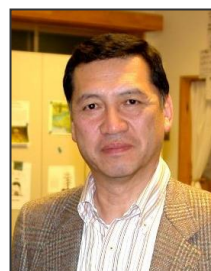
尾崎先生は、「学位取得は、一つの成果地点であると同時に、私自身の研究・教育のスタート地点でもあります。論文構想・執筆において、新渡戸文化短期大学の学校風土、学生指導の理念やあり方、教員-学生間の関係、学生たちの資質や取り組みなどは多くのヒントを与えてくれました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。こうした環境で論文執筆ができたことの幸運を実感しています。今後も研究・教育調査を基盤とし、大学の名に恥じない教育活動を目指して精進していきたいと思っております。」とコメントしています。



## 生活学科に藤森平司先生を客員教授としてお迎えします

2011年5月から生活学科に藤森平司先生を客員教授として新たにお迎えします。藤森先生は、大学で建築を学び、他大学で小学校教諭の資格を取得され、小学校へ勤務。現在は、新宿せいが保育園の園長であり、省我保育園、せいがの森保育園の統括園長を務められています。

また、2002年に保育環境研究所ギビングツリーを立ち上げ、代表として「MIMAMORU」(見守る保育)という考え方を講演、セミナー等で発信されています。その他、才能開発財団評議委員、全国私立保育園連盟保育・子育て総合研究機構代表、内閣府こども指針(仮称)ワーキングチームのメンバーです。



## 本学と「なかの生涯学習大学」が今年度より連携開始

本学は、今年度より短大としては初めて「なかの生涯学習大学」と連携を始めました。連携している大学は、お茶の水大学、東京学芸大学、早稲田大学などです。「なかの生涯学習大学」は、自己啓発をとおして、生きがいをもち、地域の中で新しいライフスタイルを創造するなどの目的で、55歳~79歳の中野区民が参加できる学びの場です。この「なかの生涯学習大学」において、本学では、9月に中原学長が「上手な医者のかかり方 ~生活習慣病の予防~」をテーマに講座を開催する予定です。